

第13回天気予報研究会開催のお知らせ

第13回天気予報研究会は、ナウキャストに焦点を当てて、観測から予報を作る技術の現状と今後の発展やそのような情報の利活用の現状と課題等について、広く議論します。入場は無料です。

講演要旨などについては気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載します。

日時：2016年2月19日（金）13時30分～17時00分

場所：気象庁大会議室（気象庁5階）

発表題目（順不同）：

1. 「静止気象衛星ひまわり8号による観測とプロダクトの紹介」
鈴江寛史（気象庁気象衛星センター）
2. 「高解像度降水ナウキャストを活用するために知っておきたいこと」
西嶋 信（気象庁予報部予報課）

3. 「新型（フェーズドアレイ）気象レーダー（略称：PAWR）を利用した防災気象情報等の提供の試み」

道本光一郎他（ウェザー・サービス(株)）

4. 「ロケット打ち上げ制約への短時間気象予測の活用」

吉開朋弘*（日本気象協会）

齊藤靖博（宇宙航空研究開発機構）

5. 「航空機運航における雷雨対策」

坂本 圭（全日本空輸(株)）

6. 「TOMACSで行ったナウキャスト社会実験について」

大西晴夫（日本気象予報士会）

(*：発表者)

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：下山紀夫（日本気象予報士会）

n-shimoyama@nifty.com